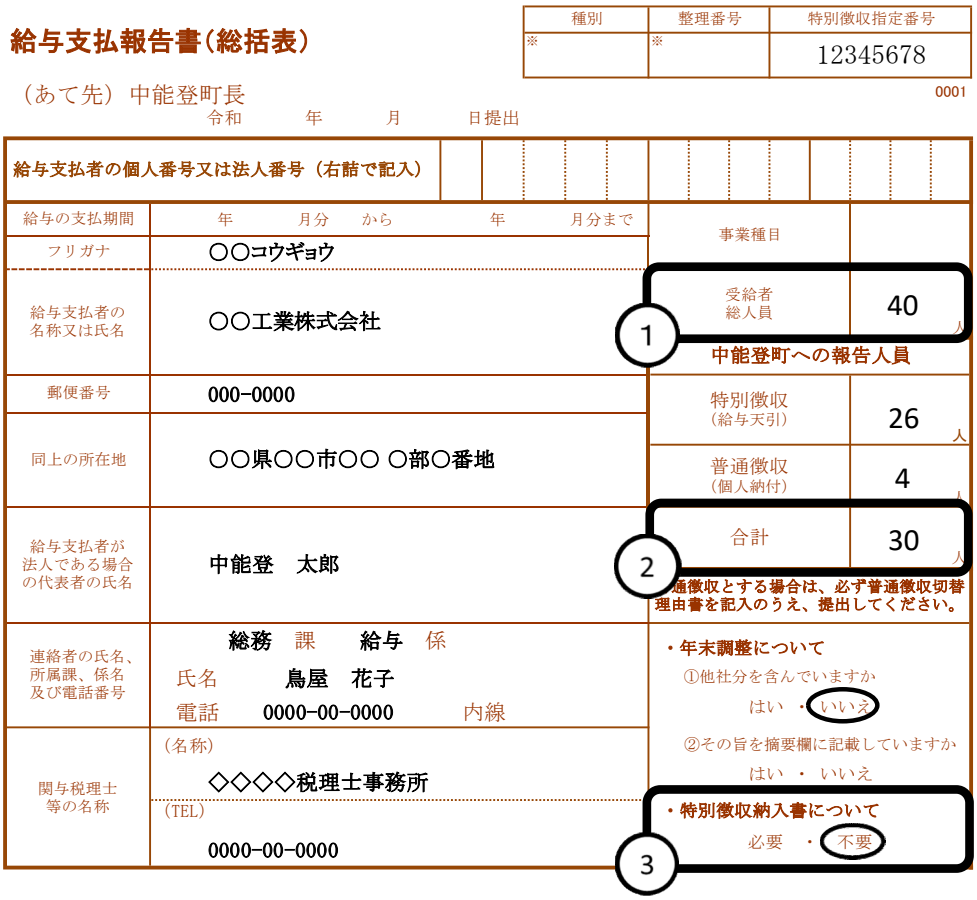
給与支払報告書作成・提出の注意点

給与支払報告書の作成については、国税庁発行「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」の「給与所得の源泉徴収票（給与支払報告書）」の項目に記載のとおりです。
（上記冊子は、税務署のほか、当町税務課窓口でも配布しています）
※総括表・仕切紙、異動届出書等の様式は中能登町HP（https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp）からダウンロードできます。下記のように検索してください。
①総括表・仕切紙→「給与支払報告書の提出」
②給与所得者異動届出書等→「個人住民税の特別徴収について」

1. 給与支払報告書（総括表）の記入例



給与支払報告書（総括表）

種別	整理番号	特別徴収指定番号
※	※	12345678

0001

（あて先）中能登町長
令和　　年　　月　　日提出

給与支払者の個人番号又は法人番号（右詰で記入）	
給与の支払期間	年　月分　から　年　月分まで
フリガナ	○○コウギョウ
給与支払者の名称又は氏名	○○工業株式会社
郵便番号	000-0000
同上の所在地	○○県○○市○○ ○部○番地
給与支払者が法人である場合の代表者の氏名	中能登　太郎
連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号	総務　課　給与　係 氏名　鳥屋　花子 電話　0000-00-0000　内線
関与税理士等の名称	（名称）◇◇◇◇税理士事務所 （TEL）0000-00-0000

事業種目	
受給者総人員	40 人
中能登町への報告人員	
特別徴収（給与天引）	26 人
普通徴収（個人納付）	4 人
合計	30 人

普通徴収とする場合は、必ず普通徴収切替理由書を記入のうえ、提出してください。

・年末調整について
①他社分を含んでいますか
はい　・　いいえ
②その旨を摘要欄に記載していますか
はい　・　いいえ

・特別徴収納入書について
必要　・　不要

① 受給者総人員
給与等の支払いを受けている者の総人員を記載してください。

② 合計
中能登町に提出する給与支払報告書の枚数と同数になります。

③ 特別徴収納入書について
eLTAX共通納税システムで納付するなど納入書が不要な場合は、不要を囲んでください。

【注意事項】
・印字されている名称・所在地等に訂正箇所がある場合は、朱書きで訂正してください。
・独自の総括表を使用する場合は、中能登町作成の総括表を合わせて提出してください。
・中能登町に提出する給与支払報告書がない場合は、これらの書類は破棄してください。

2. 給与支払報告書提出後に異動があった場合

給与支払報告書を「特別徴収該当」で提出した後、**退職や転勤等により給与の支払を受けなくなる従業員がいる場合は、令和9年4月5日（月）までに「給与所得者異動届出書」を提出**してください。

※提出がない場合や遅れた場合は、事業所に在籍しない方の税額を含んだ特別徴収税額が5月中旬に通知されることになります。

≪問い合わせ先≫
〒929-1692
石川県鹿島郡中能登町能登部下91部23番地
中能登町役場　税務課　住民税担当
TEL　(0767)72-3136

【別紙】

【普通徴収切替理由書の記入における注意事項】

1　普通徴収切替理由に該当し、かつ特別徴収できない方がいる場合は、該当理由の「人数」欄に、人数（中能登町内に居住の給与受給者のみ対象）を記入し、毎年１月末日までに、給与支払報告書と併せて提出してください。

2　該当理由が複数ある方は、該当理由のいずれか一つに人数を記載してください。

3　給与支払報告書の摘要欄に該当する符号（普Ａなど）を記入してください。なお、「普Ａ～普Ｆ」の６項目以外の理由（個人の希望、事務の増加、専任の経理担当者がいない等）による普通徴収への切替は認められません。

4　普Ａの理由に該当するかどうかは、他市区町村の居住者も含めて計算し、事業所全体で判定してください。

※普Ａの人数欄には、中能登町分のみを記載いただくとともに、２人以下であることを確認してください。

5　普Ｆの退職予定者は、給与支払報告書の摘要欄に退職予定日を必ず記入してください。

6　eLTAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力した上で、該当する符号（普Ａなど）を摘要欄に記入してください。なお、普通徴収切替理由書の添付は不要です。

【普通徴収切替理由書（兼仕切紙） 記載例】

普 通 徴 収 切 替 理 由 書 （ 兼 仕 切 紙 ）

市区町村名	中能登町	指定番号	○○○○○○○○
事業所名	○○商事 株式会社		

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2人以下 （下記「普B」～「普F」に該当する全ての（他市区町村分を含む）従業員数を差し引いた人数）	人
普B	他の事業所で特別徴収（例：乙欄適用者）	1 人
普C	給与が少なく税額が引けない（例：年間の給与支給額が112万円以下）	1 人
普D	給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月でない）	人
普E	事業専従者（個人事業主のみ対象）	人
普F	退職者・退職予定者（5月末日まで）及び 休職者（4月1日現在で給与の支払を受けていない休職者に限る）	2 人
合　計		4 人

普A～普Fについては、中能登町への給与支払報告書提出者のみ記入してください。

【中能登町指定総括表 記載例】

（ 総 括 表 ）

種別	整理番号	特別徴収指定番号
≡	≡	12345678

0001

年　月　日提出

（右詰で記入）　1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

月分から　月分まで

事業種目	サービス業
受給者総人員	15 人
中能登町への報告人員	
特別徴収（給与天引）	8 人
普通徴収（個人納付）	4 人
合計	12 人

商事 株式会社

坂９部４６番地

普通徴収とする理由書を記入

必ず普通徴収切替届出してください。

・年末調整

「普通徴収切替理由書（兼仕切紙）の合計人数」と「中能登町指定総括表の普通徴収の人数」が一致していることを確認してください。

【提出時の綴り方】

総 括 表

給与支払報告書（特別徴収分）

普通徴収切替理由書

給与支払報告書（普通徴収分）

給与支払報告書の特別徴収分と普通徴収分の仕切紙としてご使用ください。

理由書の合計人数と普通徴収分の枚数を一致させてください。

【給与支払報告書摘要欄 抜粋】

社会保険料等の金額	生命保険料の控除額
内　千　円	千　円

（摘要）

普Ｆ

×年×月×日 退職予定

該当する符号（普A～普F）を必ず記入してください。

退職予定者は退職予定日を必ず記入してください。

※　普通徴収切替理由書の提出がない場合や記載内容に不備がある場合は、普通徴収への切替ができないことがありますので、ご注意ください。

≪お問合せ先≫　　中能登町役場　税務課　　電話　０７６７－７２－３１３６